

第4次高砂市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編)

令和4年度温室効果ガス排出量削減状況

1 総排出量に係る削減目標

市役所の事務事業活動全体に伴う温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算値）を、2022（R4）年度までに、基準年度（2015〔H27〕年度）比で21%（間接的削減量を含む）以上削減することを目指します。

温室効果ガス排出量と増減率の状況

(単位：上段 排出量t-CO₂、下段 対基準年度比%)

部 門	単位	【基準】	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	【実績】	【目標】
		2015 (H27) 年度	年度	年度	年度	年度	年度	2022 (R4) 年度	2022 (R4) 年度
事務事業 排出量	t-CO ₂	18,145	14,539	12,330	10,936	10,949	12,271	12,302	13,650
	%	—	△19.9	△32.0	△39.7	△39.7	△32.4	△32.2	△25
ごみ焼却 排出量	t-CO ₂	10,969	9,464	9,507	9,574	9,459	9,293	9,271 (60,129)	9,371
	%	—	△13.7	△13.3	△12.7	△13.8	△15.3	△15.5 (448.2)	△15
公用車 排出量	t-CO ₂	242	242	233	227	211	198	190	242
	%	—	0	△3.7	△6.2	△12.8	△18.2	△21.5	0
総排出量	t-CO ₂	29,356	24,245	22,070	20,737	20,619	21,762	21,763 (72,621)	23,263
	%	—	△17.4	△24.8	△29.4	△29.8	△25.9	△25.9 (147.4)	△21

※R4年度の（ ）内の数値は、広域ごみ処理施設の稼働により、2市2町（高砂市、加古川市、稲美町、播磨町）のごみを高砂市で処理することになったため、それらを含めたもの。

2 事務事業排出量に係る削減目標

電気やガスなどのエネルギー使用に伴う温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算値）を、2022（R4）年度までに、基準年度（2015〔H27〕年度）比で25%以上削減することを目指します。

職員による省エネ・省CO₂行動の推進や、節電や設備・機器の適切な管理などにより、エネルギー使用を抑制するとともに、省エネルギー型の設備・機器や太陽光発電設備の導入を図ります。

温室効果ガス排出量と増減率の状況

（単位：上段 排出量t-CO₂、下段 対基準年度比%）

部局	単位	【基準】	【実績】					【実績】	【目標】
		2015(H27) 年度	2017(H29) 年度	2018(H30) 年度	2019(R1) 年度	2020(R2) 年度	2021(R3) 年度	2022(R4) 年度	2022(R4) 年度
市長部局	t-CO ₂	7,450	3,535	2,954	2,538	2,367	2,772	3,006	3,124
	%	—	△52.5	△60.3	△65.9	△68.2	△62.8	△59.7	△58
教育委員会	t-CO ₂	1,663	1,851	1,605	1,647	2,059	2,305	2,260	1,688
	%	—	11.3	△3.5	△1.0	23.8	38.6	35.9	2
上下水道部	t-CO ₂	5,255	5,397	4,479	3,647	3,561	3,931	3,763	5,172
	%	—	2.7	△14.8	△30.6	△32.2	△25.2	△28.4	△2
市民病院	t-CO ₂	3,777	3,756	3,292	3,104	2,962	3,263	3,273	3,666
	%	—	△0.6	△12.8	△17.8	△21.6	△13.6	△13.3	△3
排出量	t-CO ₂	18,145	14,539	12,330	10,936	10,949	12,271	12,302	13,650
	%	—	△19.9	△32.0	△39.7	△39.7	△32.4	△32.2	△25

3 ごみ焼却排出量に係る削減目標

ごみ焼却に伴う温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算値）を2022（R4）年度までに、基準年度（2015〔H27〕年度）比で15%（間接的削減量を含む）以上削減することを目指します。

「高砂市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」（2012（H24）年3月）では、計画指標として2021（R3）年度までのごみ排出量の見込みに対する削減目標を設定しています。

この計画に基づき、ごみの減量化・再資源化を推進し、ごみ焼却の削減を図ります。

温室効果ガス排出量と増減率の状況 （単位：上段 排出量t-CO₂、下段 対基準年度比%）

部門	単位	【基準】	【実績】	2018(H30) 年度	2019(R1) 年度	2020(R2) 年度	2021(R3) 年度	【実績】	【目標】
		2015(H27) 年度	2017(H29) 年度					2022(R4) 年度	2022(R4) 年度
ごみ焼却 排出量	t-CO ₂	10,969	9,464	9,507	9,574	9,459	9,293	9,271 (60,129)	9,371
	%	-	△13.7	△13.3	△12.7	△13.8	△15.3	△15.5 (448.2)	△15

※R4年度の（ ）内の数値は、広域ごみ処理施設の稼働により、2市2町（高砂市、加古川市、稲美町、播磨町）のごみを高砂市で処理することになったため、それらを含めたもの。

4 車両の使用に伴う排出量に係る削減目標

公用車の使用に伴う温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算値）を2022（R4）年度までに、基準年度（2015〔H27〕年度）比で増加させないことを目指します。

公用車には低公害車、低燃費車を優先して導入することや、エコドライブなどにより、燃料の使用量を削減します。

温室効果ガス排出量と増減率の状況 （単位：上段 排出量t-CO₂、下段 対基準年度比%）

部門	単位	【基準】	【実績】	2018(H30) 年度	2019(R1) 年度	2020(R2) 年度	2021(R3) 年度	【実績】	【目標】
		2015(H27) 年度	2017(H29) 年度					2022(R4) 年度	2022(R4) 年度
公用車 排出量	t-CO ₂	242	242	233	227	211	198	190	242
	%	-	0	△3.7	△6.2	△12.8	△18.2	△21.5	0